

# 湖南有線放送農業協同組合

## 有線放送電柱 占用位置調査

# 調 査 報 告 書

平成23年6月

<湖南有線農業協同組合 概略>

- 昭和37年 田上有線農業組合発足  
(上田上地区有線放送事業)
- 昭和38年 瀬田町有線農業協同組合発足 業務開始
- 昭和47年 2月27日 瀬田町有線農業協同組合が田上有線農業協同組合を  
吸収合併し、湖南有線農業協同組合を設立  
3月24日 滋賀県指令農協第108号で滋賀県より設立認可  
される。  
10月30日 旧郵政省 業務認可第4411号を受ける。
- 昭和48年 4月1日 湖南有線農業協同組合として大津市三大寺町1-2に  
事務所を構え、有線放送業務を開始する。
- 平成13年 4月19日 約3日間を費やし、有線放送事業の休止案内を流し  
全組合員に周知を図る。(4/19~4/21)  
4月22日 有線放送業務の休止を開始
- 平成15年 4月16日 大津市立瀬田公民館にて湖南有線農業協同組合の  
臨時総会を開催し、湖南有線農業協同組合の  
解散動議と農業協同組合の清算人を選出したが  
解散登記並びに清算人に関する登記をせず。

<建柱地域>

- 瀬田小学校区 (大江町)
- 瀬田南小学校区 (瀬田、神領、野郷原)
- 瀬田東小学校区 (一里山、月輪)
- 瀬田北小学校区 (大萱)
- 青山小学校区 (桐生)
- 田上小学校区 (稲津、黒津、石居、羽栗二丁目～、森  
枝、里、関津、太子)
- 上田上小学校区 (羽栗一丁目、堂、中野、芝原、平野、牧、新免)

<湖南有線電柱 建柱地域全図地図>



<湖南有線電柱 建柱地域全図航空地図>



瀬田川より東側地域（青山学区を除く）全地域に広く残柱している。

<湖南有線電柱占用調査表の見方> (前頁別紙参照)

①電柱番号

あくまで今回の調査で付与した番号であり、実際の契約書等や電柱標識に記載された番号とは合致しない番号。(空番号有り、別紙参照)

②単独柱

電柱の種類。C柱=コンクリート製柱、木柱=木製柱、S柱=スチール製柱と略す。

③設置場所

今回の調査での見たままの状況の建柱設置場所。契約書等の記載状況や建柱当時の状況とでは全く違う状況の可能性有り。

④設置位置

建柱の位置状態。

公道とは、市道・県道・国道。

宅地内とは邸宅内・庭・玄関先・花壇・軒先等を含む。

私有地とは邸宅地外、空き地、隣地等。(地権者が特定されていない場合)

その他とは里道、畦道、等

⑤付近目標物

湖南有線柱の直近にある各電柱の標識等を記載。

⑥引き込み

この湖南有線電柱から各宅内や施設に引き込みがある場合に引き込み柱の可否、引き込み電線の可否を記載

⑦架線

この湖南有線電柱に電線が入っているかどうかの状況を記載。単柱の場合は無。

⑧備考

この湖南有線電柱の全長、特記すべき事項、設置位置に関する状況。

この湖南有線電柱から出ている各種電線の名称種類(単線・2本ネリ線・3本ネリ線・4本ネリ線・メッセンジャワイヤー金具付線・太、中、小ケーブル等)と各種電線の全長と引き込み電線がある場合の電線の全長等を記載している。

⑨位置図

湖南有線電柱と関電柱・NTT 柱の位置関係や、電線や引き込みの状況を図にて記載。  
電柱間の距離や電線の全長、引き込み電線の全長なども図式にて記載。

⑩住宅地図位置図

ゼンリンの住宅地図に湖南有線全電柱と全電線を記載しているが、この電柱の位置及び近隣の電柱の場所を貼付している。

⑪全景写真

この電柱の全景写真を貼付している。

⑫柱頭部

この電柱の柱頭（先端部）写真を貼付している。

⑬電柱番号

この電柱の根本及び識別番号等情報黒板の写真を貼付している。

⑭特記

この電柱の特記すべき箇所についての写真を貼付している。

### <湖南有線電柱調査方法>

現地調査の準備として、各地域・各地区の地図を作成する。地図の目安としては、ゼンリン住宅地図を用いて〇〇丁目単位で地図を繋ぎ合わせて作成する。(例；大江一丁目、二丁目、三丁目・・・等)

地区によっては、住宅が疎らであったり、山林・田畑部の場合、地図縮尺率が疎らで合わない場合があるが、出来るだけ縮尺を合わせ、道路・住宅・土地の繋ぎ目が出ないように調査地図を作成する。

又今回の地図作成に関しては、瀬田川東側地域全図を作成した。

### <調査仕掛かり>

本来電線に関しては、入口と出口が存在する(プラスとマイナス)が、解散総会後少数であるが抜柱されているところが存在し、又湖南有線存続時の資料が疎らで出口と入口が確認できなかったため、大萱を出発(No0001柱)し黒津五丁目(No1201柱。以後月輪で発見されたため最終はNo1202柱)で終了となっている。

三大寺の湖南有線事務所が出発点であるはずだが既に周辺部分が抜柱されており、確認できなかったため、大萱出発となった。

尚、上田上の青山地区、大鳥居街区に関しては電柱電線が存在しない。又、旧大鳥居地区に関しては、大戸川ダム建設に伴う県道大津信楽線の移転や新名神高速道路開通に伴い、地域間の電線電柱が多数抜柱されている又は、新名神高速道路敷地内に存柱しているということで今回の調査対象には入っていない。

尚、大鳥居街区には当時、旧大鳥居地区からの移転工事が計画されていたため 湖南有線電柱の電線のみが残されている。

本調査(撮影・測量)する前に各地域を隈なく歩き電柱電線の確認を行う。準備段階で作成した調査地図を持ち、確認を行う。徒歩での調査終了後確認作業としてお互いが見つけた電柱電線の付き合いをし番号を付与していく。番号付与に関しては、出来るだけ電線の流れに沿って又は隣又は近隣の柱の通し番号様に付与していく。

### <現地調査持参品>

- ①カメラ⇒フィルム式でもいいが、今回はパソコンに取り込む事を目的としていた為デジタルカメラを使用した。
- ② 箱尺 ⇒今回は4 m仕様を使用した。尚、7 m以上の電柱はほぼ測量不可能の為、調査表には、「7 m以上」と記録している。  
4 m以上の箱尺でも良いが、徒歩での調査が基本であった為重量的に且つ機動的にという事で4 m箱尺を使用。
- ③ 黒板 ⇒電柱撮影に使用。電柱番号・所在地・全長等を記入
- ④ 距離計測器⇒電柱と電柱の間や、電線の長さ等を計測。ローラー式の計測器を使用した。

### <本調査>

事前調査で番号付与をした電柱を調査。一方の係が、電線の長さ・電柱と電柱の間の距離計測、電柱と周辺の調査を敢行。

もう一方の係が、電柱長の計測、電柱の撮影等の調査を行う。

全ての電柱が、道沿いに有る訳ではなく、各邸宅敷地内にある場合や私有地や田・畑に建柱している場合は、各人を訪ねて調査撮影を行わなければならないため、計測より手間と煩わしさに時間が掛かる。

### <調査後>

写真の整理（編集）とパソコン取り込み、調査表の書き込み作成。

ゼンリンの地図に建柱状況の記入を行う。

（パソコンの写真貼付に関して、本来ならば挿入にて写真を取り込むのであるが、写真の編集等の時間短縮のために「写駿ミニ」というソフトを使用している。）

## <調査のコツ>

事前調査で湖南有線電柱確定する要件は・・・

- ① 電柱に標識がない（関電柱・NTT柱には標識が付いている）
- ② 木柱である（関電柱・NTT柱はほぼ全てコンクリート製柱）
- ③ 電線が付いていない又は巻きつけてある。
- ④ 電柱の金具や中継箱が古い錆付いている
- ⑤ 見た目的に、関電柱・NTT柱と違う 等

## <電柱未確認地域>

大石地区に関しては、証言などを考慮すれば、当時湖南有線が引かれていた可能性がある。恐らく当時湖南有線に使用していたであろうとされるスチール製柱は現在、NHKの難視聴地域向けケーブルテレビ放送に使用されている。又、羽栗一丁目の白百合町に関しても同様に、NHKの難視聴地域向けケーブルテレビ放送及び町内の有線放送に使用されている。

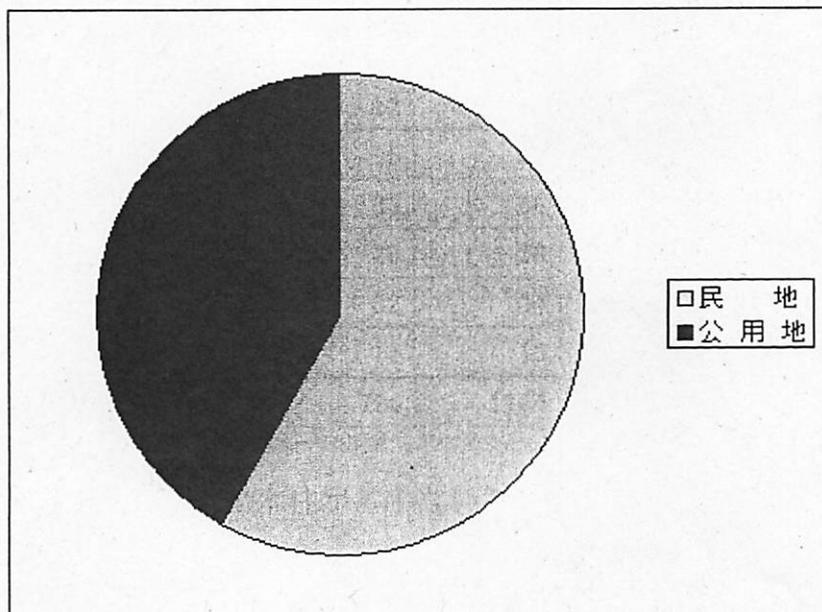
大戸川ダム建設計画に際し移転された旧大鳥居地区に関しては、集落内には電柱・電線とも確認はできなかった。又上田上牧地区からの電柱・電線は新名神高速道路敷地内に一部収容されているため確認できなかった（NEXCO西日本所有）。

又、旧大鳥居地区の移転地、大鳥居街区に関しては新規電柱の建柱が計画されていた為 電線は確認する事が出来たが電柱は確認できなかった。

湖南有線電柱 建柱状況

木柱	724
コンクリ柱	410
スチル柱	30
合計	1164

民地	677
公用地	487



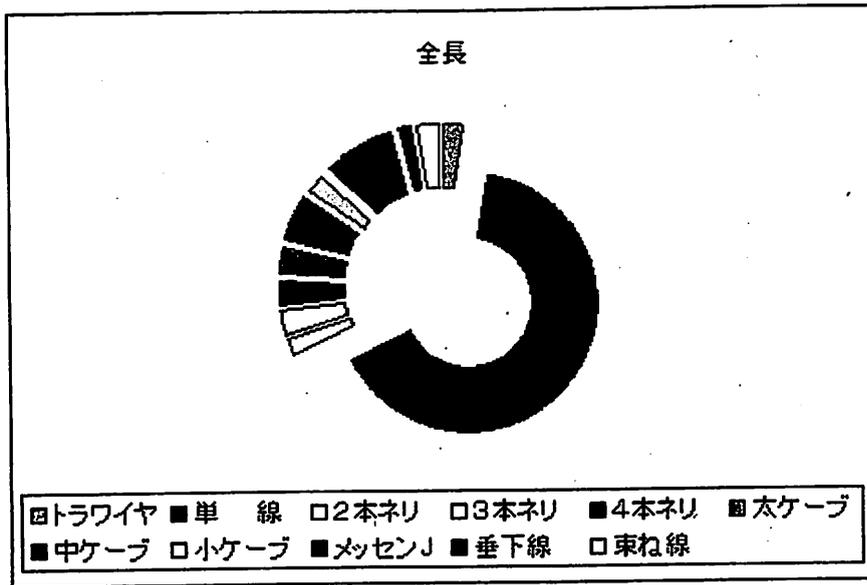
大字別	コンクリ 柱	スチル柱	木 柱	柱合計
大萱	60	3	62	125
月輪	8	1	27	36
一里山	8	1	24	33
大江	59	1	88	148
神領	50	2	35	87
瀬田	10	4	58	72
野郷原	2	2	7	11
稲津	7	2	25	34
黒津	6	1	12	19
石居	4	1	12	17
羽栗	15	0	19	34
堂	41	1	22	64
芝原	9	0	10	19
中野	5	0	30	35
平野	18	0	35	53
牧	19	1	28	48
桐生	4	5	108	117
新免	4	0	12	16
森	19	1	5	25
枝	31	2	33	66
里	28	1	29	58
関津	2	0	32	34
太子	1	1	11	13
合 計	410	30	724	1164

上記表から見ても、圧倒的に木柱が多く次いで、コンクリート柱、極少数で  
スチール柱が存在する。



## 湖南電柱 電線種別全長

電線種類	全長 (m)
トラワイヤー	2505.3
単線	63372.4
2本ネリ線	2101.3
3本ネリ線	2858.2
4本ネリ線	3099.2
太ケーブル	3289.4
中ケーブル	5159.1
小ケーブル	2179.7
メッセンジャワイヤー金具付	8716.6
垂れ下り線	1321.6
束ね線	2791.8
電線 合計	97394.6



グラフ・表からわかるように、単線が圧倒的に多く次いで、メッセンジャーワイヤー金具付が多く残されている。

単線は、集落間が短い路線及び宅内配線に使用されている関係で多く使用されていた。

メッセンジャーワイヤー金具付は、集落間特に田や道路路線など多距離を渡っている路線に関して使用されていた関係で多く残されている。

メッセンジャーワイヤー金具付路線に関しては、電線（ケーブル）はほぼ撤去されているが、渡しワイヤーのみが撤去されずに残存している状況。

（恐らくメッセンジャーワイヤー金具付には太いケーブルが通されていた可能性が高い。）

# 空 き 番 号 一 覧 表

396	581	809
419	582	826
420	583	927
453	584	928
454	659	929
461	663	965
485	671	1089
538	701	1139

561

702

1155

562

703

1159

563

704

1160

564

724

1172

580

808

合計38本